

米国公認管理会計士[USCMA]について

資格情報 | 〈米国公認管理会計士(USCMA)とは?〉

- ★ USCMAは、USCertified Management Accountantの略で、日本語では"米国公認管理会計士"と訳されます。
米国ではU.S.CPA(米国公認会計士)と並び二大会計資格の一つに数えられ、資格取得後は主にコンサルティング業務や企業内の会計・財務・企画部門で活かすことができます。
- ★ USCMAでは会計・監査・様々な数値の分析・リスクマネジメントなど、経営に関する幅広い知識を学習しますので、ビジネスパーソンとしての価値をさらに高めることが可能です。就職・転職・キャリアアップにも有効な資格です。

就職活動

転職活動

コンサルティング

U.S.CPA

就職・転職活動に活かせる

- ★ 米国公認管理会計士試験(USCMA)は、4年制大学の学位があれば受験が可能です。就職・転職を考えた場合、企業から英語力(TOEIC®のスコア等)も求められる時代に突入しました。急速にグローバル化が進んでおり、英語力だけでは差別化が難しくなっているのが現状です。そこで、お勧めしたいのが国際資格で比較的短期合格を狙える米国公認管理会計士(USCMA)です。
学習開始から6ヵ月~9ヵ月で全2科目合格を目指せます。ビジネスパーソンが知っておくべき知識を英語で学習しますので、就職・転職後の実務でも活かれます。初学者の方は、基礎知識部分をU.S. CPA(米国公認会計士)講座のBECコースで学習していただきますので、次の資格としてU.S. CPAも狙いやすくなっています。

英語力・会計知識の証明になる

- ★ 米国公認管理会計士(USCMA)試験は全て英語で行われますので、試験に合格することにより経営・財務・企業統治等の知識が身に付くことはもちろん、ご自身の英語力の証明にもなります。
- ★ 登録後は「米国公認管理会計士(USCMA)」と名刺に記載ができますので、ステータスアップや転職・就職でのアピール等にも有効です(上記参照)。

経営コンサルティング・企業内で知識を活かせる

- ★ グローバル化が進む世の中において、英語力とビジネスパーソンとして備えておくべき知識を有している人材が近年、増々求められる傾向にあります。多くの業界で規制緩和が行われ競争が激化する状況の中で経営者の経営判断がより一層シビアな形で求められています。この厳しい経済環境の中、企業が生き残っていくためには経営コンサルティングや企業内診断の重要性が今後より高まっていくと予想され、米国公認管理会計士(USCMA)の存在価値もますます高まっていくと予想されます。
- ★ 中小企業診断士の方や中小企業診断士の学習経験者の方にもお勧めです。現在お持ちの知識に英語をプラスすることにより、日米のコンサルティングに関する資格を取得できます。今後は国内だけではなく、海外企業との取引や交渉事も増加すると考えられます。英語力を身に付けるということは、コンサルティングの生命線とも言える情報収集を英語で行えるという事を意味しますので、他者との差別化ができ、ご自身の希少価値を高められます。

contents

01 米国公認管理会計士[USCMA]について
02 試験概要
03 協会への登録~合格~継続教育までの流れ
04 コース紹介

05 コースガイド
・USCMA本科生2015 Edition
・BEC+USCMA対策コース2015 Edition
・財務報告基礎+USCMA対策コース2015 Edition
・USCMA対策コース2015 Edition

09 学習内容
・学習メディア/フォロー制度
10 About GLEIM
11 お申込み上の注意・e受付

12 お申込み書
13 TAC MAP
14 TAC申込規約

試験概要

EXAMINATION OUTLINE

US Certified Management Accountant **USCMA**

1 受験資格

4年制大学卒業の学位が必要です。学部は特に問われません。

2 試験科目・合格率

USCMA試験は2科目から構成され、科目合格制です。どちらの科目から受験してもかまいません。

Part1 / Financial Planning, Performance and Control (財務計画、業績管理と統制)

出題範囲	External Financial Reporting Decisions	財務諸表報告の決定	15%
	Planning, Budgeting and Forecasting	予算の計画、編成	30%
	Performance Management	業績管理	20%
	Cost Management	原価管理	20%
	Internal Controls	内部統制	15%

Point

2015年1月より、新たな試験範囲に！
U.S.CPAのFARや
BATICの知識が活かれます！！

Part2 / Financial Decision Making (財務的意思決定)

出題範囲	Financial Statement Analysis	財務諸表分析	25%
	Corporate Finance	企業財務	20%
	Decision Analysis	意思決定分析	20%
	Risk Management	リスクマネジメント	10%
	Investment Decisions	投資意思決定	15%
	Professional Ethics	倫理	10%

合格率 (2013年5月～2014年4月)

	Part 1	Part 2
世界平均	35%	42%
アジア地域	41%	45%

米国公認管理会計士協会公表データ

3 試験方式

- ☐ コンピュータ試験
☐ 各科目「四肢択一問題 (Multiple choice) 100題」+「記述問題2題」

4 試験時間

各Part 4時間 (四肢択一問題3時間、記述問題1時間)

- ※エッセイ問題に進むためには、四肢択一問題で半分以上の正答が必要です。
※四肢択一問題を3時間以内に終わらせた場合、残った時間を記述問題に繰り越すことができます。

5 受験料

各科目395ドル

6 受験可能期間

毎年3つのテストウィンドウがあります。
「1月2月」、「5月6月」、「9月10月」で受験が可能です。

7 試験会場

日本では、東京・大阪のプロメトリックテストセンター会場で受験できます。

受験時に**パスポート**が必要となります。

1. 東京／御茶ノ水ソラシティ 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台御茶ノ水ソラシティ アカデミア5F TEL. 03-3258-9151
2. 大阪／大阪中津試験会場 〒531-0071 大阪市北区中津1-11-1 中津センタービル7F TEL. 06-6376-5811

8 試験結果

試験の結果は、受験された月の月末から6週間後に通知されます。

採点は科目ごとに行われ、得点は0から500ポイントのスケールドスコア※に換算されます。合格ラインは各科目360ポイント以上です。

※スケールドスコアとは、得点した点数に対して問題の難易度等を考慮し補正をした点数のことです。

9 科目合格の有効期限

申込み登録後12か月以内に受験する必要があります。申込み登録を行ってから3年以内に2科目合格する必要があります。

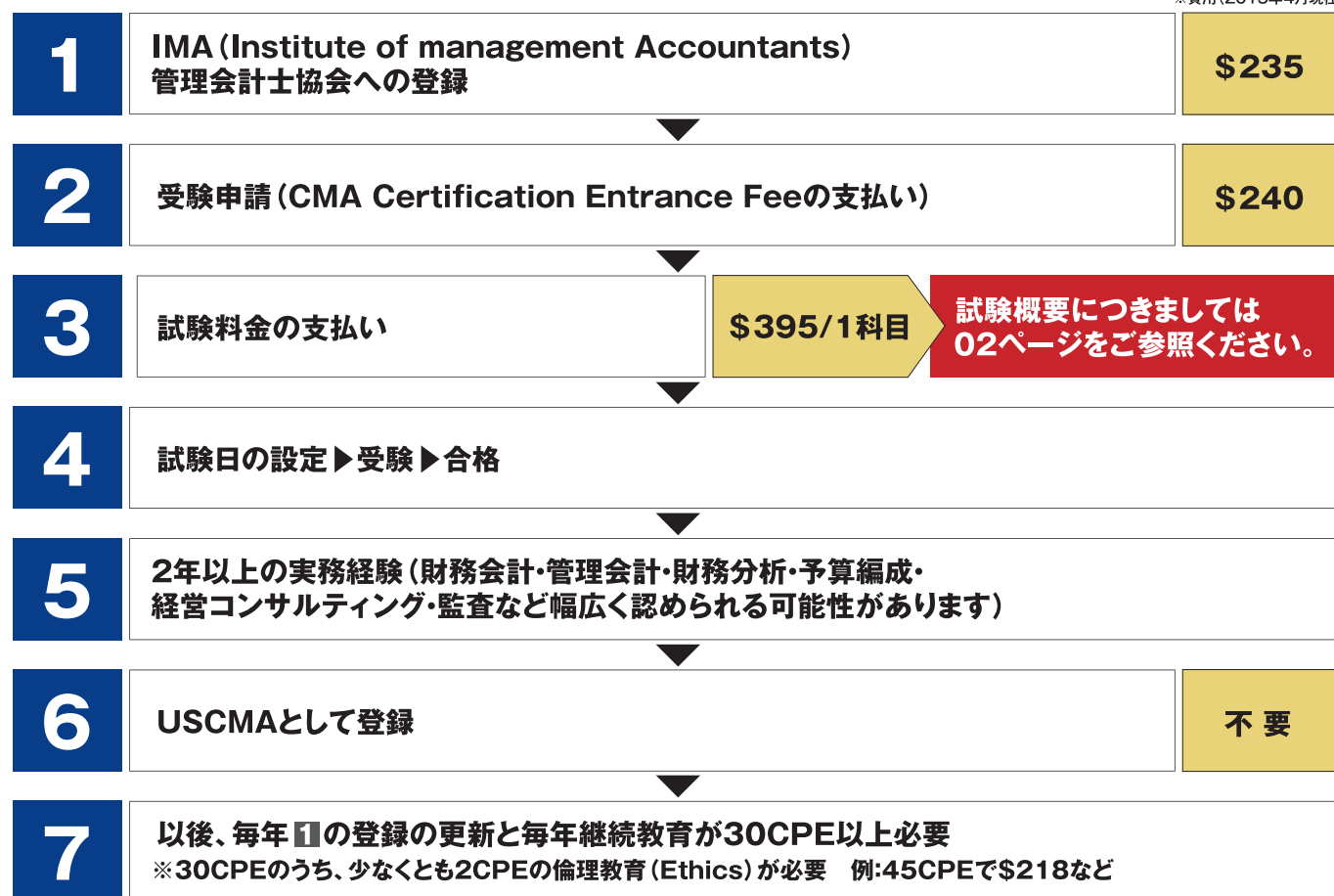
※試験を受験された日ではなく、申込み登録を行った日から3年以内。

協会への登録～合格～継続教育までの流れ

FLOW CHART

US Certified Management Accountant **USCMA**

※費用(2015年4月現在)



受験の申込みに関するお手続きの際は、必ずご自身で最新の試験情報をご確認ください。

登録証 Sample ▶



Congratulations!!

TACなら
安心!!

受講生専用サイトに、手続き関連の資料をUPしています。
受講生の方に専用のログインIDとパスワードを付与させていただきます。
最新試験情報、受験手続方法、USCMA登録情報など必要な情報は、
インターネット環境があればいつでもどこからでもご確認いただけます。

